

平成28年度後期 学校評価(教職員)

【評価】 A:十分達成できた(4点) B:ほぼ達成できた(3点) C:あまり達成できなかった(2点) D:達成できなかった(1点)

| 分類 | 番 | 評価項目 | 後期 | 前期 |
|----------------------------|----|--|-----|-----|
| 学力向上推進 (学習指導・研修) | 1 | アクティブラーニングを取り入れ、わかる授業・参加する授業を実践し、個に応じた授業を実践している。 | 2.9 | 2.7 |
| | 2 | 情報機器、図書館等を積極的に活用した授業を実践している。 | 3.3 | 2.6 |
| | 3 | 全国学力調査・県到達度調査の結果を分析し授業で活用している。 | 2.7 | 2.6 |
| | 4 | 生徒は、学習規律が身につき意欲的に取り組んでいる。 | 3.2 | 3.0 |
| | 5 | 家庭学習や読書への具体的支援で、生徒の自主的な学習習慣の形成を推進している。 | 3.1 | 3.2 |
| | 6 | 学習に関して、生徒の能力や努力を適切に評価している。 | 3.6 | 3.6 |
| | 7 | 全体計画に基づき、学校教育活動全体を通じて道徳教育を推進している。 | 3.3 | 3.2 |
| | 8 | 年間計画に基づき、心の教育を図る道徳の授業を実践している。 | 3.2 | 3.1 |
| | 9 | 学級活動は、計画的に実施されている。 | 3.1 | 3.2 |
| | 10 | 生徒会活動(委員会活動)は、生徒が主体的に活発に活動している。 | 3.6 | 3.6 |
| | 11 | 学校課題の解決を目指した校内研修が行われている。 | 3.4 | 3.2 |
| 生徒指導・ 教育相談・ 進路 | 12 | 生徒理解に基づいた生徒指導、教育相談を行っている。 | 3.6 | 3.6 |
| | 13 | 生徒が安心して学校生活を送れるように、いじめがない温かい人間関係を育てている。 | 3.3 | 3.2 |
| | 14 | 問題行動を未然に防ぎ、校則を守る等の規範意識の向上が図られている。 | 3.3 | 3.2 |
| | 15 | 家庭・地域・関係機関と連携を密にした指導を行っている。 | 3.4 | 3.4 |
| | 16 | スクールカウンセラーやSSWなどの支援体制が充実している。 | 3.7 | 3.7 |
| | 17 | 発達段階に応じた、子どもの夢や希望を育み、計画的な進路指導を行っている。 | 3.2 | 3.3 |
| | 18 | 進路についての情報を生徒や保護者に十分伝えている。 | 3.3 | 3.3 |
| (安全・ 保健・ 施設)管理 | 19 | 学校安全計画に基づき、安全教育を実践している。 | 3.2 | 3.5 |
| | 20 | 安全点検が定期的に行われ、その対策が講じられている。 | 3.3 | 3.4 |
| | 21 | 学校保健計画に基づき、保健指導、健康教育を推進している。 | 3.7 | 3.7 |
| | 22 | 養護教諭・家庭・保健所・医療機関等の関係機関の連携が充実している。 | 3.7 | 3.6 |
| | 23 | 各種施設設備は清潔に保たれ、スムーズな管理運営がなされている | 3.5 | 3.6 |
| 特別 支援 教育 | 24 | 個別の支援計画に基づき個々のニーズに応じたきめ細かい指導を行っている。 | 3.4 | 3.5 |
| | 25 | 特別支援教育について全職員の理解が十分である。 | 3.4 | 3.3 |
| 組織 運営 | 26 | 校務を適切に処理するため職員会議や企画委員会・各種委員会等は効率的に運営されてい | 3.3 | 3.2 |
| | 27 | 校務分掌は適材適所に配置され、職能成長につながっている。 | 3.4 | 3.4 |
| | 28 | 各種行事等はそのつど計画・実践・評価が適切になされている。 | 3.3 | 3.4 |
| | 29 | 職員の服務規律は遵守されている。 | 3.9 | 3.7 |
| 開 か れ た 学 校 | 30 | 家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進め、開かれた学校づくりに努めている。 | 3.5 | 3.3 |
| | 31 | 学校、家庭、地域が連携して、幼小中連携を推進している。 | 3.1 | 3.2 |